

環境調査結果のお知らせ

平成28年1月22日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温12~13°C、塩分32、溶存酸素量8~9mg/lでした。
透明度は3~4mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、ケラチウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温12.1~13.2°C、塩分31.7~32.0でした。
前回調査時(H28.1.6)と比較して、水温は全層で2.3~2.8°C下降していました。塩分は全層で0.1~0.4上昇していました。

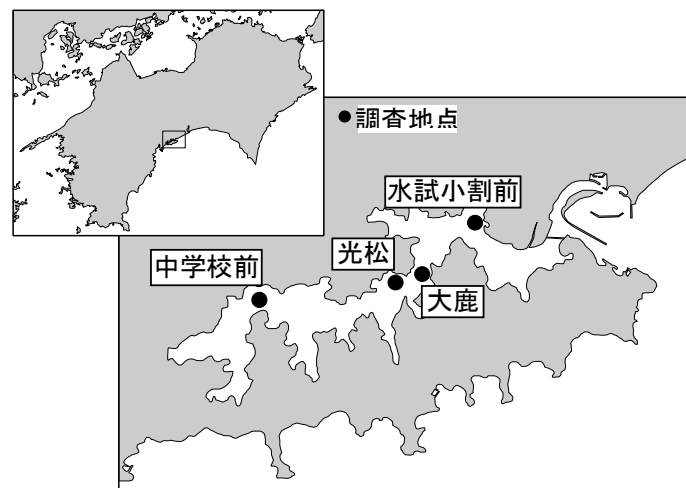
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.9~8.9mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層で0.1mg/l増加し、2m層で0.1mg/l減少し、10m層から底層で0.4~0.7mg/l増加していました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は3.0~4.3mでした。
検鏡の結果、魚類に有害なカレニア・ミキモトイが最高で20cells/ml、ケラチウム属が最高で4cells/ml確認されました。魚類に有害なシャットネラ属は確認されませんでした。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(魚類のへい死)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H28.1.6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	12.2	—	12.7	12.7	13.1	12.7	15.0	▲ 2.3
2m	12.2	—	12.7	12.7	13.2	12.7	15.1	▲ 2.4
5m	12.2	—	12.7	12.7	13.2	12.7	15.1	▲ 2.4
10m	12.1	—	12.8	12.8	—	12.8	15.6	▲ 2.8
B-1m	12.1	—	12.9	13.1	13.2	13.0	15.8	▲ 2.8

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H28.1.6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	31.7	—	31.8	31.7	31.9	31.8	31.4	0.4
2m	31.7	—	31.8	31.7	32.0	31.8	31.4	0.4
5m	31.7	—	31.8	31.7	31.9	31.8	31.4	0.4
10m	31.7	—	31.8	31.7	—	31.8	31.6	0.2
B-1m	31.7	—	31.8	31.9	31.9	31.8	31.7	0.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H28.1.6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.5	—	8.9	8.7	8.7	8.8	8.7	0.1
2m	8.3	—	8.3	8.1	8.3	8.2	8.3	▲ 0.1
5m	8.2	—	8.1	8.0	8.2	8.1	8.1	0.0
10m	8.1	—	8.0	7.9	—	8.0	7.6	0.4
B-1m	8.1	—	7.9	7.9	8.1	7.9	7.2	0.7

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.0	—	17.4	17.4	9.8
透明度	4.3	—	3.0	3.3	4.3
前回(1/6)	2.2	2.8	1.7	1.4	1.7

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	ケラチウム属	シャットネラ 属	アカシオ・サ ングイネア	珪藻類
中学校前	0m	14	4	0	7	350
	2m	7	3	0	5	300
	5m	20	1	0	6	70
光松	0m	4	1	0	8	170
	2m	6	1	0	5	0
	5m	6	0	0	5	150
大鹿	0m	4	0	0	8	50
	2m	4	0	0	9	50
	5m	8	2	0	7	20
水試小割前	0m	1	0	0	7	20
	2m	1	0	0	4	0
	5m	4	0	0	8	0